

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-4-1	事務事業名 図書館利用者インターネットシステムの整備	所管部課 生涯学習部中央図書館					
事務事業の概要	事務事業の目的 図書館利用者の調査研究、教養、リクレーション等に資するためのレファレンスサービスの一環として、利用者の情報の収集・分析・活用能力の向上を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)図書館レファレンスサービスの充実					
	実施内容、実施方法 中央・ひばり・柳沢図書館に無線LANのステーションを設置し、10人まで同時アクセスできる環境の整備。また、機器を実施館に2台ずつ設置しパソコンを持たない利用者でもインターネット検索ができる環境を整備し利用を促進する。(初年度9月開始)	根拠法令等 西東京市図書館利用者用インターネット端末設置及び利用要綱					
事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()							
評価指標の設定	活動指標名 設置台数	活動指標の考え方(定義) インターネット利用のための機器の設置台数					
	成果指標名 1台あたり年間利用回数	成果指標の考え方(定義) 利用された回数(利用日156日。1台につき1日10回利用可能。1,560回)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	0	1,942	1,492	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				1,942	1,492	
	所要人員(B)	人			0.20	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	1,666	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	3,608	2,325	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(設置台数)	千円	0	0	601.27		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	台			6	6
		実績値	台			6	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	回			1,560	2,930	
	実績値	回			734		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	便利になった。もっと台数や利用時間を増やしてほしい。未実施に館にも設置してほしい。プリンターを設置してほしい。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	多摩地区26市のうち18市が実施。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	ログ通信記録の保持 不正アクセス防止のための制約 著作権等の利用の制限					

コード 13-4-1	事務事業名 図書館利用者インターネットシステムの整備	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	館によって差があるが、PRが充分でなかったため、稼働率が低かったが、利用が増加傾向にあるので、次年度からは目標値に近づいていくことが予想される。 中央図書館 902件(稼働率58%) ひばりが丘図書館 794件(稼働率51%) 柳沢図書館 507件(稼働率33%)
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	インターネットを活用することにより、利用者の調査研究・教養に資する環境の整備が向上する。高度情報化社会に対応するサービスである。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	サービスを開始するまでの準備に時間を要したが、運用開始からは職員が関わる時間は減少した。 有料サイトに関しては、アクセス件数の動向を見て、判断していく。
	公平性 <input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	規模の大きな館での実施なので、小規模館との格差が生じている。今後は正していくか検討が必要。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用が増加傾向にあるので、実施館の機器は台数を増やし、未実施館は整備することを検討する。

17年度における改善点	有料サイトのアクセス件数と経費を分析し、平成18年度以降に提供するサービスの内容を再検討する。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
- 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
- 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
- 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
- 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
- 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。